



# 阪神北広域こども急病センター

# ニュースレター

2023年度  
夏  
号



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へと移行しました。街中にはマスクを外す人も多くみられるようになり、学校や園では会話をしながら楽しく食事をする子どもたちの姿が戻ってきました。同時に新型コロナウイルス感染症対策により流行しなかった様々な感染症が、感染対策の緩和とともに増加しています。

今回は増加傾向にある感染症の中でも、乳児がかかると重症化しやすい**RSウイルス感染症**についてのお話です。

## ① RSウイルス感染症とは

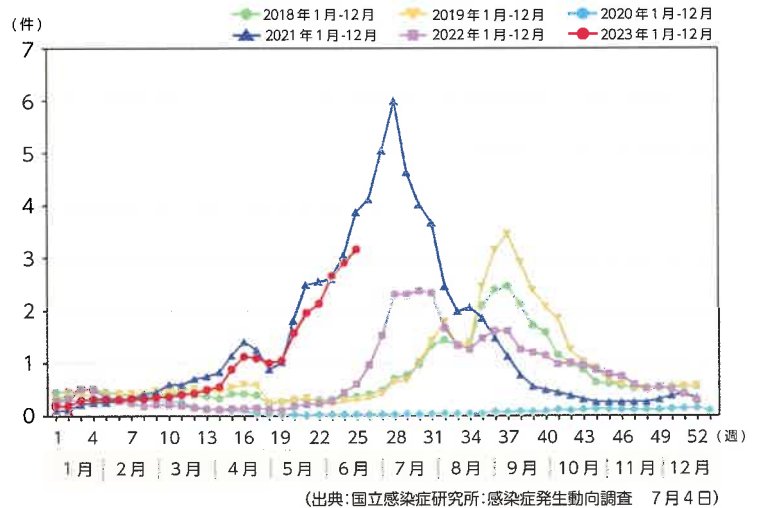


RSウイルス感染症はRSウイルスに感染することによって引き起こされる呼吸器の病気です。

1歳までに50%以上が、2歳までにはほぼ100%のお子さんが感染し、その後何度も感染を繰り返します。多くは軽い風邪のような症状ですが、基礎疾患を持つお子さんや乳児期早期(生後数週間～6か月)にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎や肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあり注意が必要です。

## ② 最近の流行状況

通常の流行時期は秋から冬にかけてですが、新型コロナウイルス感染症が流行した2020年は社会活動の制限等により流行が見られませんでした。しかし翌年の2021年は初夏から夏にかけて大流行し、2022年においても夏季に小流行がみられました。今年度は大流行した2021年同様5月頃から流行し始め、6月末現在においても増加し続けています。



## ③ 潜伏期間・症状・治療



RSウイルスの潜伏期間は2日から8日間(多くの場合4日～6日間)とされ、鼻水、咳、発熱など風邪のような症状が出ます。RSウイルスに対する特別な治療はなく、対症療法(病気の症状を和らげる治療)により通常は数日から1週間くらいで徐々に回復します。

## ④ ホームケア

- 咳や鼻水で呼吸がしんどそうとき、仰向けで寝ていると鼻水がのどや気管に流れ込んで呼吸がしにくくなります。ソファや布団にもたれるなどできるだけ座らせたり身体を起こしてあげましょう。乳児は立て抱きがよいでしょう。
- 鼻が詰まっているときは綿棒で掃除したり、鼻水を吸い取ってあげましょう。特に水分や食べ物を摂取する前にとってあげると食べやすくなります。
- 母乳やミルクは1回量を少なくして、何回にも分けて与えましょう。
- 飲んだ量やおしっこの回数などをメモしておきましょう(受診時に医師に伝えましょう)。
- お熱でぐったりしているときは、解熱剤を使用しましょう。



➡ ⑤ 夜間休日の受診のめやす \* 下記のような症状があるときは受診しましょう。



- ゼーゼー、ヒューヒューの音が強く、息苦しそう
- 顔色が悪く、ぐったりしている
- 胸やお腹をペコペコさせて呼吸している
- 母乳やミルクの飲みが悪い
- 3か月未満の乳児で、一時的に無呼吸になるときがある





➡ ⑥ 感染予防対策

RSウイルスの感染経路は「**接触感染**」と「**飛沫感染**」です。

- 乳児への感染を予防するためには、家族を含む周囲の大人、年長児がしっかり手洗いをしましょう。
- 風邪症状がある年長児や大人は、可能な限り乳児との接触を避けましょう。  
やむを得ず接触する場合はマスクを着用してください。
- 子どもたちが日常的に触れるおもちゃなどはこまめに洗浄、消毒しましょう。



おもちゃの洗浄・消毒	洗えるもの 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯できるものは洗濯機で洗濯、乾燥(布製のおもちゃ、ぬいぐるみなど)</li> <li>・食器用洗剤などの家庭用洗剤で洗い流す(プラスチックやビニール製のおもちゃなど)</li> <li>・おしゃぶりなど口に入れるものは、哺乳瓶同様に0.01%次亜塩素酸ナトリウム液(ミルトン®等)に1時間浸漬する。</li> </ul>
	洗えないもの 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール(消毒用エタノール 濃度70%以上)でよく拭く。(大型遊具、木製のおもちゃなど)</li> <li>・洗ったり拭いたりできないものは、使用前後に手を洗う。</li> </ul>



電話相談をご利用ください

◆ 阪神北広域こども急病センターでは、看護師による電話相談を行っています。



☎ 電話相談 ☎

**072-770-9981**

\* 発信者番号を通知の上、おかけください

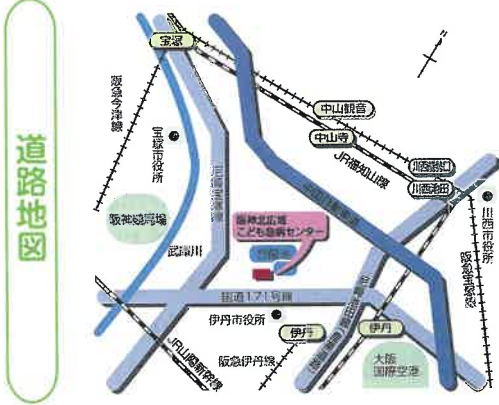
☎ 相談受付時間 ☎

平日	午後8:00～翌朝6:30
土曜日	午後3:00～翌朝6:30
日・祝日・年末年始(12/29-1/3)	午前9:00～翌朝6:30

こどもの急病でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

診療のご案内

診療科目	小児科(15歳以下、中学生まで) ※原則、内科の診療となります	
診療受付時間	平日	午後7:30～翌朝6:30 診察開始は午後8時から
	土曜日	午後2:30～翌朝6:30 診察開始は午後3時から
	日・祝日・年末年始(12/29-1/3)	午前8:30～翌朝6:30 診察開始は午前9時から



道路地図



**阪神北広域こども急病センター**  
〒664-0015 伊丹市昆陽池2丁目10番地  
<http://www.hanshin-kodomoqq.jp/>

**TEL: 072-770-9988**  
**FAX: 072-770-9905**